

ACP-Aワークショップを体験して実践のポイントを学ぶ



院内・地域でACPを進める

準備・実施・評価

「生活を支える視点での意思決定支援」で
「希望をつなぐ連携」を!

2011年からの取り組みで得た
実践知を元に指導!

千葉恵子氏

学校法人鉄蕉館 亀田医療大学
看護学部 看護学科 講師
学校法人鉄蕉館 亀田総合病院
リンパ浮腫センター 非常勤看護師

2005年緩和ケア認定看護師取得、2007年フェルディ式医療マニュアルリンパドレナージセラピスト資格取得、2015年千葉大学大学院訪問看護教育研究分野修士課程修了(看護学)。亀田総合病院では、緩和ケアサポートチームが中心となって、既に2011年に千葉県安房地域でACPを普及させるためのプロジェクト「ACP-A」を立ち上げ、活動をスタートさせている。2019年4月より現職。2020年東京女子医科大学大学院博士後期課程修了(看護学博士)。

名古屋	20年9月19日(土)	満席	[12]
名古屋	20年10月24日(土)	日総研ビル	[15]

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 税込	一般 18,500円	会員 15,500円
	※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数11人。	

プログラム

- 1. ACPの(アドバンス・ケア・プランニング)基本理解**
 - ACPの概要、用語の定義、考え方
 - プロセスとしてのACP
 - ACPの5つのステップ
 - ACPにおける「共有意思決定」
 - ACPを進める体制づくり
- 2. 高齢化率40%超の地域におけるACPの実践**
 - 安房地域の特徴と医療提供体制
 - ACP-A立ち上げの経緯
 - 院内における「人生の最終段階の医療」の実際
 - ACPを院内そして地域に浸透させるための手順
 - 厚労省ガイドラインの活用
- 3. これからACPを進めるための体制づくり**
 - 院内における多職種チームづくり
 - 地域における医療介護職との連携
 - ACPを進めるための各種ツール
 - ACPを浸透させるための教育研修
 - ACPにおいて看護師が果たすべき役割
- 4. 体験で学ぶ ACP-Aワークショップの実際**
 - ACPの理解・活用を進めるための仕掛け
 - ワークショップ開催の3つのステップ
 - 【体験】「もしも…のときの話し合い」についてのグループワーク
 - 【体験】「もしバナカード」を用いたワークACPファシリテーターの役割
 - ワークショップ開催時の注意点やファシリテーターの役割
 - 元気なうちからACPについて考える機会の提供
- 5. ACP実践のポイント** ● 結果を求めるのではなく過程を丁寧に
 - 「今」という視点で話し合いをし続ける
 - すべてが変化しうるもので正解はない
 - 「治療をする・しない」を決めることがゴールではない
 - 患者が大切にしていることを患者と確認する
 - 揺れ動く気持ちも含めて寄り添い続ける
- 6. ACP実施後の評価** ● 「これでよかったのか」の思いへの対処
 - 関係者によるカンファレンスの持ち方
 - ACPを地域でつなぐためのポイント

このセミナーの詳細はインターネットで検索!

日総研 14806

検索

関連雑誌

隔月刊誌(定期刊行物・会員制)

望む医療・ケアで人生の最終段階を支える!

エンド・オブ・ライフ ケア

End-of-Life Care

B5判 112頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

- 終末期における褥瘡対策、皮膚障害へのケア [5・6月号]
- 終末期の在宅療養を支える在宅チームと病院の連携 [7・8月号]
- チームで取り組む心不全の緩和ケア [9・10月号]

今後の予定

令和2年度開催 公認心理師現任者講習会【申請中】

公認心理師の国家資格取得に挑戦しませんか?

日総研 公認心理師 検索

日総研 接遇大賞

優れたサービス
取り組みを表彰

事例発表会は3月。応募は9月30日まで。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞 検索

お問合せ
ご注文

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索